



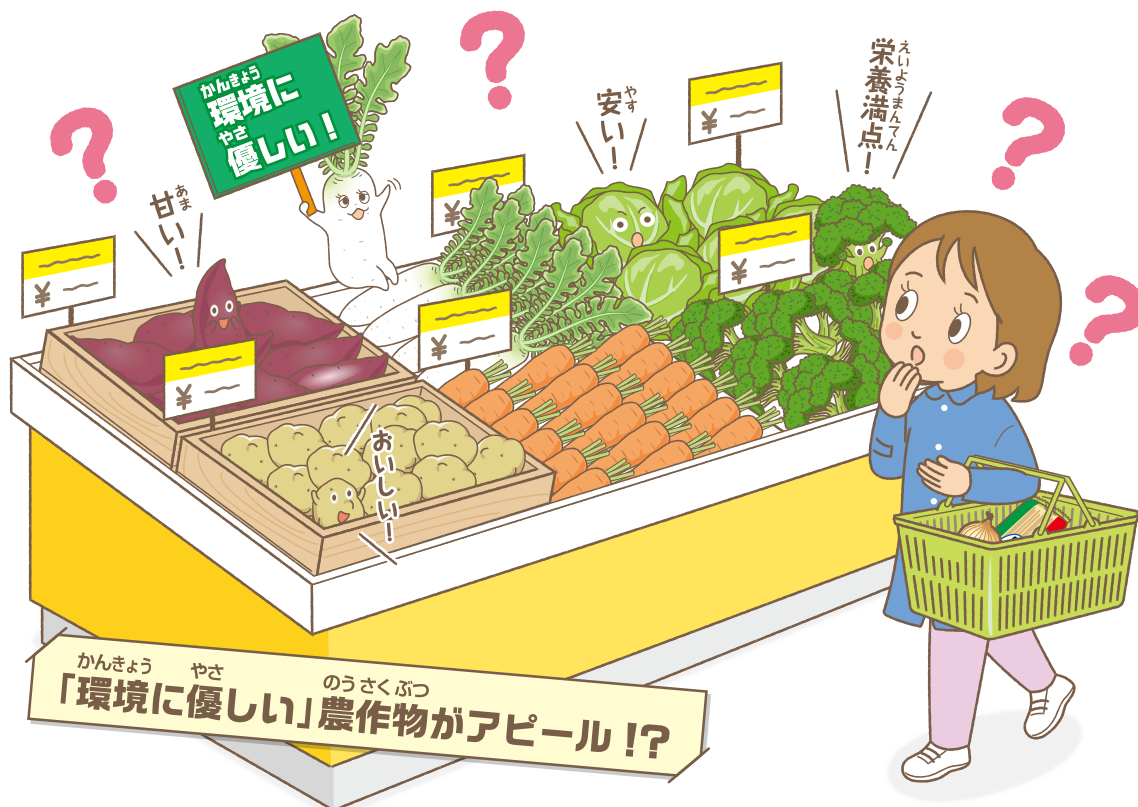
エコロジ^{たん てい}探偵

「エコ」に関することをたくさん知っているよ

スクワール^{じょ しゅ}助手

こう き しんおうせい かん
好奇心旺盛で「エコ」に関
するいろいろなミステリー
を見つけてくるよ

ミステリーファイル ② / みえるらべる



※イラストはイメージです

たん てい て ちょう
探偵手帳

おん しつ こう か
温室効果ガス

地球から出ていく熱を吸収して、大気をあたためるはたらきがある気体（ガス）のこと。水蒸気、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロン類などがある。地球温暖化の主な原因は、このガスが増えて気温が上昇するため。人間の活動で出る温室効果ガスの量は、石油、石炭、天然ガスといった化石燃料の使用によって発生する二酸化炭素がダントツ。二酸化炭素よりも温室効果が高いメタンや一酸化二窒素などの気体も無視できない。

た せいぶつ た ようせい
田んぼと生物多様性

管理の仕方によって、田んぼは昆虫、両生類、魚、鳥などさまざまな生き物のすみかや餌場となり、生物多様性がとても高い環境となる。また、生き物の死がいやふんは、微生物に分解されてイネの養分となり、米作りに役立つ。



エコロジ探偵！大変です！お店で売っている農作物が、自分で「環境に優しい」とアピールしているそうです！

まあ落ち着きなさい。それは農作物に貼られている「みえるらべる」のことですね。農作物を作るとき、環境に優しい取り組みをしていると貼ることができます。「見る」と「選べる」の文字を並べ替えて名づけられたそうですよ



【みえるらべる】※一例



※温室効果ガス削減のラベルは、現在トマトやレタスなど24品目が対象。生物多様性保全のラベルは現在米のみが対象。



なるほど！でも、農業で環境に優しい取り組みって何でしょうか

一緒に考えましょう。農作物を生産するとき、化石燃料を使ってトラクターなどの機械を動かしますよね。それによって二酸化炭素が出ます



確かにそうですね…

さらに、水田や家畜のげっぶやふん尿などから発生するメタン、土の中の微生物が肥料を分解したときに発生する一酸化二窒素も、農業によって出る温室効果ガスです



だから、農業でもそれらを減らす努力をしなければいけないのですね

そうですね。では、ラベルを取得するための取り組みの例を紹介しましょう



有機栽培

化学農薬や化学肥料を使わずに農作物を作る栽培方法。化学農薬や化学肥料を生産するときに必要な化石燃料の使用を減らすことや、田畑の生物多様性を高めることなどにつながる。

バイオ炭の使用

光合成で二酸化炭素を吸収して育った、木材やもみ殻などの植物体を炭にして農地の土に混ぜ込むと、炭素が土の中に留まるため、大気中の二酸化炭素を減らしたことになる。

ふゆみずたんぼ

稲刈りが終わった田んぼに冬も水を張ることで、水鳥など、水場で暮らす生き物の保全につながる。集まってきた水鳥のふんや水田に残った糞、稲株が、微生物などのはたらきで天然の堆肥になり、農業や化学肥料に頼らない田んぼができる。



▲冬の田んぼで休むハクチョウ

ラベルの星の数は、取り組みに応じて三つまで表示できます。星の数のつけ方は、ざっくりいうとこんな感じです



- ・温室効果ガスを20%以上減らせた！
→<温室効果ガス削減 星三つ>
- ・化学農薬、化学肥料を5割以上減らせた！
&「ふゆみずたんぼ」を行った！
→<生物多様性保全 星二つ>



生物多様性保全のラベルは、今のところ米だけが付けられるのですね

田んぼはたくさんの生き物のすみかや餌場になります。また、国内の農地面積に占める田んぼの割合が大きいので、全国で取り組みやすく、効果も出やすいのです



なるほど！ラベルが付いている商品を買って、この取り組みを応援したいですね！